

## 羅臼湖地区における検討の進捗状況

1. 平成23年度、羅臼湖部会構成員との現地踏査及び植生調査、専門家へのヒアリング結果を踏まえ、羅臼湖部会で議論を行い、付替えルートを選定と歩道再整備の工法を決定した。
2. 平成24年度以降、歩道の維持管理体制、携帯トイレの導入、利用のルール等について引き続き検討を進める。

### 1. 付替えルートの選定

- 羅臼湖部会の構成員にご参加いただき、付替えルートの現地踏査を合計7回実施した。
- 植生調査、泥炭厚調査、地形調査を実施するとともに、植生等の専門家へのヒアリングを行い、必要な助言を得た。
- 平成23年度は羅臼湖部会を3回開催し、上記の結果を踏まえた付替えルートを検討した。
- ルートは植生の保全を優先させ、湿原や希少な植生に影響を及ぼす可能性のある既存のルートは付替えることとした。また、ルートの選定にあたっては、質の高い利用環境を維持する、木道等の構造物を少なくする、関係者の十分な協議を行う、安全に登山口にアクセスできるようにする、雪が吹き溜まる斜面や雪解けの遅い斜面、急傾斜地は避けるといった点に配慮した。

### 2. 歩道再整備の工法

- 湿原植生等の保全のため、杭は使用せずに枕木による木道とすることとした。
- 専門家以外でも管理ができるよう、木道等の構造物を少なくし、自然石も活用することとした。
- 三の沼や羅臼湖周辺などの高層湿原域においては、植生保全のためグレーチングを活用することとした。

### 3. 今後の予定

- 釧路自然環境事務所と根釧東部森林管理署にて平成24年度～平成25年度の2か年程度で歩道整備を実施する予定。
- ルートの付替えを実施した箇所においては、植生復元対策や継続したモニタリングを検討する。
- 平成24年度は携帯トイレブースの設置試験を実施する予定。ブースの維持管理について、地域関係団体のご協力をいただきたい。
- 平成24年度以降、歩道の維持管理体制、携帯トイレの導入、利用のルール等について引き続き検討を進める。